

地域公共交通シンポジウム ～地域交通産業の革新！～

- 日時：2023年12月21日（木）15:00～18:00（開場:14:30）
- 会場：ベルサール御成門タワー3階
およびオンライン配信（Zoomウェビナー）

ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

一般財団法人 運輸総合研究所の業務につきましては、平素からの格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「地域公共交通シンポジウム」を開催することと致しましたので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご臨席いただきたくご案内申し上げます。

敬具

一般財団法人 運輸総合研究所 会長 宿利 正史

趣旨

- 地域交通は、カーボンニュートラルの実現、国の強靱性の向上などの国家課題、地域・国民のウェル・ビーイングによる豊かな生活の実現などの国民課題に貢献する重要な社会基盤です。
- 本シンポジウムは、地域交通に関する現行の制度や取組みでは直面する危機的状況に対応することが困難となっている状況に対し、そのサービスが基本的には民間企業に委ねられている我が国において、持続可能な地域交通の確保に向けて、現在の枠組みを超えて、「地域交通産業の革新」という喫緊の課題について考えることを目的に実施します。

主なSDGs関連項目



お申込み

下記のURLよりお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/symposium231221>

（来場申込期限：12月19日（火）まで）オンライン視聴は直前まで受け付けております。

※お申し込みをいただいた方には、後日視聴用URLをご送付いたします。

お問い合わせ：

一般財団法人 運輸総合研究所（担当：塚本、福島）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）

TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8401

E-mail：collo@jttri.or.jp HP：<https://www.jttri.or.jp/>



地域公共交通シンポジウム ～地域交通産業の革新！～

プログラム

- 主 催：一般財団法人 運輸総合研究所
- 日 時：2023年12月21日（木）15:00～18:00（開場:14:30）
- 会 場：ベルサール御成門タワー3階 および オンライン配信（Zoomウェビナー）
※講師の許可が取れ次第、収録映像を公開する予定です。
- 参加費：無料
- その他：会場内での撮影・録音は禁止させていただきます。

注) プログラムは変更になる可能性があります。

- 【開会挨拶】 **宿利 正史** 運輸総合研究所 会長
- 【取組紹介】 **仮井 康裕** 広島電鉄株式会社 代表取締役専務
「持続可能な地域公共交通に向けた広島都市圏での取り組み」
- 松本 順** 株式会社みちのりホールディングス代表取締役 グループCEO
「ローカル交通インフラのサステナビリティ」
- 【パネルディスカッション】
- コーディネーター： **山内 弘隆** 武蔵野大学経営学部特任教授、一橋大学名誉教授、
運輸総合研究所 研究アドバイザー
- パネリスト： **小嶋 光信** 両備グループ代表 兼 CEO、一般財団法人地域公共交通総合研究所代表理事
- 松本 順** 株式会社みちのりホールディングス代表取締役 グループCEO
- 仮井 康裕** 広島電鉄株式会社 代表取締役専務
- 森 雅志** 富山大学 客員教授 前富山市長
- 宇都宮 浄人** 関西大学経済学部 教授
- 宮島 香澄** 交通政策審議会委員、日本テレビ報道局解説委員
- 城福 健陽** 元京都府副知事、運輸総合研究所特任研究員
- 【閉会挨拶】 **佐藤 善信** 運輸総合研究所 理事長

会場

ベルサール御成門タワー 3階
 「御成門駅」A3b出口直結（三田線）
 「大門駅」A6出口徒歩6分（大江戸線・浅草線）
 「浜松町駅」北口徒歩10分（JR線）
 「モノレール浜松町駅」北口徒歩11分（東京モノレール）
 〒105-0011東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー3F・4F ベルサール御成門タワー
 ※近隣には「ベルサール御成門駅前」がございます。お間違えのないようお気をつけください。
https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/shinagawa/bs_onarimontower/access/



登壇者のご紹介


取組紹介 「持続可能な地域公共交通に向けた広島都市圏での取り組み」
飯井 康裕 広島電鉄株式会社 代表取締役専務

<略歴>

1983年立命館大学経営学部を卒業後、広島電鉄に入社し、主にバス事業の企画業務や本社での人事労務管理業務などに従事。
 1999年に新設した広島市西部エリアのバス事業子会社「エイチ・ディー西広島」の社長として、地域密着型経営を定着させた。
 2012年の呉市交通局のバス路線全面移管にあたっては準備段階から携わり、執行役員呉バスカンパニープレジデントとして呉エリアでのバス事業再生に道筋をつけた。
 2020年に常務取締役、2022年に専務取締役に昇任、2023年からは代表取締役専務として日本初のABT方式を採用した新乗車券システムの開発など交通政策分野や、DX・IT分野のかじ取りを担っている。


取組紹介 「ローカル交通インフラのサステナビリティ」
松本 順 株式会社みちのりホールディングス代表取締役 グループCEO

<略歴>

1961年生まれ、仙台市出身。上智大学法学部卒業後、GM系投資会社などを経て、2003年産業再生機構執行役員に就任。九州産業交通、関東自動車などの事業再生案件を統括。機構解散後、2007年に経営共創基盤（IGPI）の設立に参画（現在も共同経営者）交通・観光事業の経営改革や再生を行うプロジェクトに関与。2009年IGPI傘下に設立したみちのりホールディングス代表取締役に就任。また、2020年に日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役専務に就任。
 その他に、岩手県北自動車・みちのりホテルズの代表取締役社長、福島交通・湘南モノレール・佐渡汽船の取締役会長、会津乗合自動車・関東自動車・茨城交通の取締役を兼任。
 JR四国経営改善委員会委員、一般財団法人東北経済連合会地域政策委員会幹事などを務める。


コーディネーター 山内 弘隆 武蔵野大学経営学部特任教授、一橋大学名誉教授、
 運輸総合研究所 研究アドバイザー

<略歴>

1985年、慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得の上退学。中京大学商学部専任講師、経済学部専任講師、一橋大学大学院商学研究科教授、一橋大学大学院商学研究科科長兼商学部長を歴任し、2019年より一橋大学名誉教授、武蔵野大学経営学部特任教授。
 専門領域は交通経済論、公共経済学、公益事業論、規制の経済学。
 政府関連委員として内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省社会資本整備審議会臨時委員等を歴任したほか、現在、資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会委員、国土交通省交通政策審議会委員、総務省情報通信審議会専門委員、内閣官房郵政民営化委員会委員長等を務める。
 2016年から2023年、一般財団法人運輸総合研究所所長を務めた。


パネリスト 小嶋 光信 両備グループ代表 兼 CEO、
 一般財団法人地域公共交通総合研究所代表理事

<略歴>

1968年慶應義塾大学経済学部 卒業。慶應義塾大学ビジネススクール（現：同大学大学院経営管理研究科）修了。（株）三井銀行[現・三井住友銀行]勤務を経て、73年両備運輸(株)常務、99年両備バス(株)社長、2007年両備ホールディングス(株)社長、11年両備ホールディングス(株)会長兼CEO、13年（一財）地域公共交通総合研究所 代表理事に就任。
 現在、両備グループ45社の代表のほか（一社）中国旅客船協会 代表理事、（公社）岡山県バス協会 代表理事、（一社）日本旅客船協会 副会長、（公社）日本バス協会 理事、（一社）日本民営鉄道協会 理事などを務める。
 「忠恕」を経営理念として、猫の[たま駅長]でシンボル化された和歌山電鉄や中国バス等の再生と交通関連の法制化を通して地域公共交通の活性化に取組み、2016年に交通文化賞を受賞。「歩いて楽しいまちづくり」を目指して「エコ公共交通大国構想」を提唱中。
 著書：『日本一のローカル線をつくる』学芸出版社(2012)、『地方交通を救え!』交通新聞社(2014)、『地域モビリティの再構築 監修：家田仁／小嶋光信』薫風社(2021)

登壇者のご紹介


パネリスト 森 雅志 富山大学 客員教授、前富山市長

<略歴>

1952年富山市生まれ。1976年中央大学法学部卒業。1995年富山県議会議員当選、2002年旧富山市長に就任、2005年市町村合併に伴い新富山市長に就任、4期務め2021年任期満了退任。人口減少時代を見据え「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」ビジョンを策定し、LRTネットワークを中心とした街づくりを進める。その間、富山市は「環境モデル都市」「環境未来都市」「SDGs未来都市」第一号認定を受け、国際的にはOECDより世界のコンパクトシティ5都市に選出。国連のエネルギー効率改善都市、ロッキフェラー財団100のレジリエント都市、世界銀行のパートナー都市などに選定される。個人として国土交通大臣交通文化賞受賞。日本建築学会文化賞受賞。OECDチャンピオンメヤーズに選任。


パネリスト 宇都宮 浄人 関西大学経済学部 教授

<略歴>

1984年京都大学経済学部卒業。1991年マンチェスター大学修士（経済学）、2021年京都大学博士（経済学）。1984年日本銀行に入行。2001年一橋大学経済研究所専任講師、2003年日本銀行調査統計局物価統計課長、2010年同金融研究所歴史研究課長などを歴任。2011年から現職。2017年度はウィーン工科大学客員教授を兼任。主著に『地域公共交通の統合的政策』（東洋経済新報社、2020年刊、日本交通学会賞<2021年>、第42回国際交通安全学会賞受賞<2021年>）、『地域再生の戦略』（筑摩書房、2015年刊、第41回交通図書賞受賞<2016年>）、『鉄道復権』（新潮社、2012年刊、第38回交通図書賞受賞<2013年>）など。2021年日本交通学会副会長。専門は交通経済学、経済統計学。


パネリスト 宮島 香澄 交通政策審議会委員、日本テレビ報道局解説委員

<略歴>

1988年東京大学文学部卒業。
 日本テレビ放送網（株）入社。報道記者・ディレクターとして、財政金融・産業政策・地方行政・社会保障・エネルギーなどを取材。オリンピックや大震災・金融不祥事で番組制作。
 2008年報道局解説委員（経済全般・社会保障）
 「ズームイン!!SUPER」「ズームイン!!サタデー」「news every.」「news zero」ほかでニュース解説。
 2007年より、官邸「社会保障国民会議」、経産省「産業構造審議会」、総務省「道州制ビジョン懇談会」、官邸「若者・女性活躍推進フォーラム」「人生100年時代構想会議」などの政府委員を歴任。
 現在は、国交省「交通政策審議会」、財務省「財政制度等審議会」、資源エネルギー庁「総合資源エネルギー調査会」、人事院「人事行政政策諮問会議」などの委員を務める。


パネリスト 城福 健陽 元京都府副知事、運輸総合研究所特任研究員

<略歴>

1988年3月京都大学経済学部卒業。運輸省入省以降、JNTO（ニューヨーク事務所）次長、経済産業省商務情報政策局参事官（観光・集客サービス）、国土交通省総合政策局交通支援課長、航空局参事官（近畿圏・中部圏空港担当）、総合政策局公共交通政策部長、海事局次長、運輸安全委員会事務局長等。2015年～2018年京都府副知事。2023年5月より現職。

【専門分野】

地域交通政策（需給調整規制廃止から地域公共交通活性化・再生法、地域最適な地域交通展開、協働・連携による地域交通展開と独禁法、補助制度、日本版MaaS）鉄道（地域・都市鉄道）航空（関空・伊丹コンセッションと神戸空港との3空港一体運用）観光（ラグジュアリー・トラベル・マーケット、地域連携DMO、地域・地域資源ブランディング）サービス産業（JCSI(日本版顧客満足度指数)、ディスプレイ産業、展示会産業)